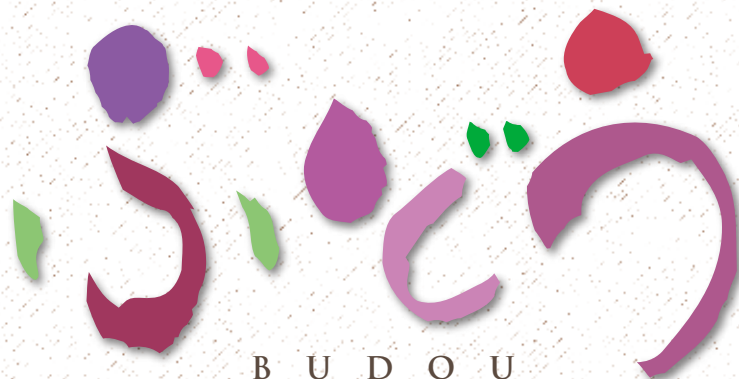




B U D O U
Alumnae association bulletin

2017

CONTENTS

2016年度同窓会総会報告……………1	同窓会報告……………7	お仕事会報告・同窓会本部……………14
同窓会会長挨拶……………3	教養講座グレープ・ガーデン 報告・次回予告…8	学院INFORMATION……………15
井尻の今昔……………3	熊本地震募金について……………8	今石悦子記念ピアノコンサート……………16
50年目の卒業式……………4	音楽科卒業生会……………9	会計報告……………17
25年目の同窓会……………4	卒業生紹介……………9	ガリラヤ湖のほとり……………18
支部だより・2016年度支部総会報告…5	インドネシアからApa kabar?……………10	「福岡女学院同窓会100年史」が発行されました!!…18
『少年たちの戦争』をめぐる座談会…7	看護大学 献堂式……………10	逝去……………18
短期大学卒・大学卒業生の集いのご案内…7	Mission Family……………11	イベント案内……………19
生涯学習センターより……………7	バザー報告・グッズ紹介……………13	編集後記……………19



2016年度同窓会総会



新

福岡女子学院同窓会会則 新旧対照表

第一章

第2条 本会は福岡女子学院建学の精神に基づき、会員相互の連絡及び親睦を図るとともに、福岡女子学院広報・校友課と連携を図りながら、母校の発展に寄与することを目的とする。

第三章
(役員会)

第14条 1 役員会は必用に応じて会長がこれを招集し、議長は会長が指名する。
2 役員会は過半数の出席をもって成立する。
3 学院との連携を図るため、役員会に学院広報・校友課職員を陪席させることができる。

第六章

第22条 (部会) 1 本会には以下の部会をおくことができる。
(1) 中学校・高等学校部会
(2) 短期大学部・大学部会
(3) 看護大学部会
(4) 音楽科卒業生会部会

旧

第一章

第2条 本会は福岡女子学院建学の精神に基づき、会員相互の連絡及び親睦を図るとともに、福岡女子学院総務課と連携を図りながら、母校の発展に寄与することを目的とする。

第三章
(役員会)

第14条 1 役員会は必用に応じて会長がこれを招集し、議長は会長が指名する。
2 役員会は過半数の出席をもって成立する。
3 学院との連携を図るため、役員会に学院総務課職員を陪席させることができる。

第六章

第22条 (部会) 1 本会には以下の部会をおくことができる。
(1) 中学校・高等学校部会
(2) 短期大学部・大学部会
(3) 看護大学部会

【第一部】礼拝・総会

2016年5月17日(火)、ソラリア西鉄ホテルにおいて、静かな奏楽と共に学院創立131周年同窓会総会を開催いたしました。

来賓、同窓生188名の出席者のうち、32名が80歳を超える先輩方でした。いつもながら、そのお元氣なお姿にふれることができ大変嬉しく思いました。

奨励は福岡女子学院看護大学宗教主事の金田俊郎先生に『私たちのミッション』というテーマでお話をしていただきました。

その後、Gloria Patriを歌い、園田浩子(S39年高卒)の開会の言葉で幕を開け、同窓会会長伊藤和子(S46年高卒)による挨拶、黒瀬嘉代子(S55年高卒)、大城戸実加(S55年高卒、S57年短卒)を議長との進行のもと、議事は全て承認されました。

今年度は、役員交代があり副会長3名、役員6名が退任し新しく7名が選出されました。

総会プログラム

看護大学 宗教主事
金田 俊郎 先生

【第二部】懇親会

懇親会は、福岡女学院院長寺園喜基先生の乾杯で始まりました。

ホテルの和食調理長による工夫のされた美味しい食事と、当番学年の森恵美さん(H1年高卒)の軽妙な司会進行のもと筑前琵琶の寺田蝶美さん(H1年高卒)のすばらしい演奏から始まりスライド、音楽科の方々のバラエティーに



とんだ演奏がありました。

会の最後に同窓生全員で「創立記念日の歌」「ハレルヤ」の大合唱で2016年度の総会は盛況のもと閉会しました。

この総会のためにお忙しい中ご協力下さった皆様に、心よりお礼申し上げます。

当番学年より

この度、私たち平成1年卒業生は、総会のお当番という大役を仰せつかり、総勢27名でお手伝いさせていただきました。当日は、恩師の方々、多くの同窓生の方々と再会し、女学院の思い出を語り合い、大変懐かしい気持ちになりました。

懇親会では、合唱団「葡萄」の方々、寺田蝶美さん、巢山千恵さん、佐野容子さんに素晴らしい演奏で華やかに盛り上げていただきました。

また総会の準備に際しましては、同窓会役員の方々、事務局スタッフの方々に多大なご尽力をいただき、無事に総会を終えることができましたこと心より感謝いたします。

今後も女学院と同窓会が益々ご発展されますことを心よりお祈り申し上げます。誠にありがとうございました。



当番学年：H3年高卒・H5年短卒

創立132周年 2017(平成29)年度

福岡女学院同窓会総会

日時：2017年5月17日(水) 午前11時～午後15時

場所：ソラリア西鉄ホテル

会費：7,000円

80歳(S30年高卒)以上の方 5,000円・新卒の方 3,000円

当番学年：H2年高卒・H4年短卒・H6年大卒

詳しくは同封のチラシをご覧ください。
チラシ(裏面)の振込用紙にてお申し込みください。



※ご注意：あらかじめ同窓会本部から許可のないチラシ・印刷物の提示や配布はご遠慮ください。

会長 挨拶

愛と恵に喜びと感謝!!

明けましておめでとうございます。心新たに、年を迎えられた事とお慶び申し上げます。本年も、宜しくお願い申し上げます。

さて、今年は学院創立132周年となり、同窓会も創立102周年となります。この長きに渡りミッシンファミリーと、そしてお支え下さる多くの方々に育まれ今日がある」と心より感謝を申し上げます。

又、昨年は世の中がなかなか穏やかには過ごせず、昔と比べて天候も不順となり、先が見えづらくなつてまいりました。四月の熊本、大分の震災は八ヶ月が経とうとしております。直ぐに、学院のお声かけで、同窓会も支援活動を始めました。お陰様で支援金が集められております。心より感謝を申し上げます。一日も早い復旧復興をお祈り申し上げます。

人は「苦しい峠でも必ず下り坂になる」と申します。どんな険しい峠でも越える力を持っている。そして、その苦しさを乗り越えた人ほど強く



同窓会会長
伊藤 和子
(S46年高卒)

豊かになれる。八月のオリンピックやパラリンピックを見る時、感動の連続でした。五体満足で生まれているにも関わらず、わが子を厄介者と思ひ日々悩む親もいる中で、そのとらえ方次第で人生は大きく変わって行くと思います。前を向いて悩みを受け入れながら歩いていく事。きつと生きる勇気が芽生え、与えられている賜物に感謝される事でしょう。

又、「出会い」も大切です。私は、北九州支部でのお交わり、そして支部長としての働きの中で貴重な出会いがありました。さらに、同窓会本部でのお交わり、又会長としての働きの中でも貴重な出会い、たくさんの方との良い出会いをさせて頂いております。このご縁を大事にしよう!!と言う気持ちで、出会いを育て豊かな人生の時を皆様と作っていけたらと願っております。

これからも、ぶどうの枝に連なる一人としての喜びと感謝を持って、皆様の更なるご理解とご協力を、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

2016年／平成28年



井尻の
今昔



昭和

(写真提供:西日本鉄道株式会社)

50年目の卒業式



S 40年高卒 丸山 紀美子

3月1日、私たち昭和40年卒業生は、50年ぶりの卒業式に参加させて頂きました。

その日は、真冬並みの寒さの中、38名が9時から、黄色のフリージアの花を胸につけて頂き、緊張して卒業式に臨みました。

私たちは懐かしいセーラー服の後輩の皆さんたちに交わり、静かに式が終わるまで感動に浸かっておりました。

式後の昼食会では、徳永徹先生、二田真知子校長先生、福島恭輔先生に心温まるお話を頂きました。同窓会会長の伊藤和子様にもお祝いのお言葉を頂きまして、終わりまで和やかな祝会となり、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

永らくこの日を心待ちにして遠路より駆けつけた同級生、卒業以来初めて再会する同級生など、皆さんの喜びあふれた顔は、高校生の時のままでした。このような50年ぶりの卒業式参加の感動は、これからいつまでも私たちの心に残り続けることでしょう。

新しく完成した素晴らしい校舎



に感嘆の声を上げながら見学したあと、昔の佇まいを残す中高の校舎を見たときは、皆さん一様に懐かしさが込み上げ、出席できて本当によかったと廊下を歩きながら語り合いました。

伝統のある福岡女学院が、新しいものを取り入れながら、なおかつ古きよきものも尊重する教育を持続しておられることに敬意を表しまして、母校の更なるご発展をお祈り申しあげます。

25年目の同窓会



H 3年音卒 大庭 晴美

創立記念日、卒後25年を迎えた私達は女学院で同窓会を行いました。平日の昼間、そして熊本地震の影響もあり、気持ちはあっても来られない友達が多かったのですが、盛会の運びとなりました。

私自身は卒業後も何かと女学院と関わってまいりましたが、卒業後初めて女学院に足を踏み入れる友達もいて、綺麗になったり増えた施設に驚き、老けない先生方と再会し、そして変わらない教室、メイポールダンスを見学し、一気に気分は女学院生に。まだ踊れる！

中学から入学した者たちは、入学した年が創立100周年。英語もろくに習わないまま、ハレルヤコーラス、主の祈り、グロリア・パトリなどの歌を教えていただき、必死に覚え、あの素晴らしい行事を体験することができました。そのお陰か私達は女学院に対する思い入れが深いのではないかと思います。

歳を重ね、それぞれの分野で活躍している多才で多彩な友達。あの頃にはあまりわからなかった、ぶどうの枝でつながっているということ

実感した時間でありました。夜の部には退職された先生方、昼間仕事で来られなかった友達とも再会で、楽しい時間となりました。

この機会を作って下さった二田校長先生、同窓会の方々、事務局の方々に感謝いたします。



支部だより

支部名(支部会員数)
支部長名(卒年)

2016年支部総会学院関係出席者

支部名	出席者
北九州支部	十時理事長、徳永名誉院長、松原名誉理事長 高島大学学長、西原本部事務局長
広島支部	十時理事長、松原名誉理事長、西原本部事務局長
中部支部	十時理事長、寺園院長、徳永名誉院長、松原名誉理事長 高木広報・校友課課長補佐
関西支部	十時理事長、寺園院長、徳永名誉院長、松原名誉理事長 西原本部事務局長
関東支部	十時理事長、寺園院長、徳永名誉院長、松原名誉理事長 片野看護大学学長、二田中高校長、西原本部事務局長
大分支部	寺園院長、松原名誉理事長、西原本部事務局長
長崎支部	十時理事長、徳永名誉院長、西山本部事務局次長 高木広報・校友課課長補佐
筑後南支部	十時理事長、大島本部事務部長
鹿児島支部	十時理事長、寺園院長、丸田看護大学事務部長

中部支部 (119名)

阿部 高子 (S39年高卒、
S42年短卒)

10月14日(金)
名古屋マリオット
アソシアホテルにて



今回は朝山紀美さん(S36年高卒)に「聖福寮」のお話を伺いました。～昭和20年敗戦直後、福岡市博多区の聖福寺の敷地内に引揚孤児(特に病児)を保護する寮を設立。主に小児科医山本良建氏(朝山さんのお父上)と栄養失調でやせこけた孤児たちを「何とかしなければ」と福岡女学院の教師をやむなく辞された石賀伸子先生を中心として運営された。働き手が足りなかったため、石賀先生と友の会のルートで、福岡女学院の卒業生や生徒が保母やボランティアとしてサポートした。～朝山さんの体験談から、福岡女学院の教師や生徒の貴重な歴史の一コマを知ることができました。

関西支部 (467名)

河本 紀子 (S41年高卒)

10月15日(土)
ザ・リッツカールトン大阪にて



今回も総会終了後にミニコンサートが開かれ楽しいひと時を過ごすことができました。

板倉武子先生、山本信子先生に参加していただいたこともあり、例年に比べ、短大卒の方により多く出席していただきました。是非、これからも参加してくださいようお願いいたします。板倉先生の変わらぬエレガントでエネルギーあふれるお話からパワーをいただいた気持ちになりました。

北九州支部 (1536名)

横田 純子 (S44年高卒)

10月1日(土)
ステーションホテル小倉にて

大分支部からも2名の方々に参加していただき、和気あいあいと和やかな雰囲気の中総会を執り行うことができました。今回は同窓会100年史が配られた事もあり、女学院の歴史に係のあるクイズで盛り上がりました。出席者の皆さんは同窓会に出席することにより、女学院の絆を改めて感じてくださっているようです。次回はたくさんの方の参加を心よりお待ちしております。



次回(2017年)

10月3日(火) 開催

関東支部 (2078名)

鈴木 恭子 (S38年高卒)

10月21日(金)
明治記念館にて

明治記念館という会場の雰囲気を生かし「和」をテーマとした内容になるよう心がけました。和食・筑前琵琶の寺田蝶美さん(H11年高卒)・竹添先生の短歌のお話、それぞれ日本文化の良さを再認識し、さらには伝統のコールクレールのコーラスをフルートと共に聴けて、落ち着いた会になりました。そして、初めて支部総会にご臨席くださった片野看護大学学長のお話

も在学中は縁のない分野でしたので興味深く伺うことができました。



広島支部 (141名)

守屋 靖子 (S28年高卒)

10月7日(金)
ホテルグランヴィア広島にて

少人数の参加になり残念でしたが、本部から多くの方に出席いただき、女学院の現状など聞くことができ大変嬉しく思いました。広島からではありませんが、私たちも何かのお役に立てればと改めて思いました。同窓会グッズの販売は毎年楽しみにしていますので今後も続けていただきますようお願いいたします。



11月23日(水)

鹿児島東急REIにて

会員からの返信切手でデザインしたぶどうをモチーフとした手作りのプログラムは、IT時代の世の中であって温かみがあると毎回好評です。プレゼント抽選会、リコーダー演奏など、皆さまと楽しい時間を過ごせたことを感謝いたします。例年参加者も少なく今回で休会するとご案内しましたが、「ぜひ続けてください」との声を多くいただきましたので、今後については検討していきたいと思います。皆さまのご協力をお願いします。



鹿児島支部

(421名)

新原 美栄子 (S52年短卒)

大分支部

(913名)

安浪 敬子 (S41年高卒)

11月4日(金)

トキハ会館にて

今回、寺園院長・松原名誉理事長・西原事務局長にご出席いただき学院の様子等を聞くことができ、身近に感じられてとても嬉しかったです。皆さんに「苦手だった先生、好きだった先生」をテーマに自己紹介をしていただき、その頃の思い出話で盛り上がりました。出席者もなかなか増えなくて頭をかかえていましたが、メールや電話での声かけをしたことにより皆さんにころよく出席していただいたので、今後に活かしたいと思います。役員2名での準備はとも不安でしたが、事務局の皆さんがしっかりサポートしてくださったことで実りある支部総会になりました。心より感謝いたします。



長崎支部

(695名)

大岩 しのぶ (S55年音卒)

11月15日(火)

ホテルニュー長崎にて

今回の支部総会は徳永徹名誉院長ご夫妻をはじめ、学院本部、中部支部より支部長の阿部さん前支部長の平田さんにお越しいただいて、長崎市内で開催しました。礼拝の後、来賓の挨拶や栗山昌子前同窓会会長の「同窓会100年史」発刊のお話を聞きながら、有意義な時を過ごすことができ大変うれしく思っております。総会後には国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館に場所を移し「少年たちの戦争」の著者である徳永徹名誉院長が当時の貴重な資料に基づき、進行されながら私達女学院関係者も含め70名ほどの方々と共に座談会に参加致しました。被爆者の体験を初めて生の声で聴くことができたこと、それを後世に語り継いでいくことの大切さが身にしみた一日になりました。来年度の支部総会にはたくさんの参加をお待ちしています。



2016年度 支部長会

2016年5月17日(火)ソラリア西鉄ホテルにて総会後、10支部支部長と本部役員と報告会及び活動方針について討議いたしました。



福岡女学院同窓会

2017年度 関東支部総会のご案内

日時 2017年10月20日(金)
11:00~14:30

場所 明治記念館
東京都港区元赤坂2-2-23

会費 8,000円 +1,000円(支部会費)

関東支部フェイスブック

www.facebook.com/fukujokanto

当番学年:S58年高卒

筑後南支部

(634名)

安藤 恭子 (S48年高卒・S50年短卒)

11月16日(水)

ホテルニューグアイア
オームタガーデンにて

快晴のもと、大牟田市内を一望できるホテルのスカイホールにて支部総会を開催しました。今回は、お知り合いを誘い合って来てくださったので、初めての方も含めいつもより多くの方が参加してくださいました。大牟田市、柳川市、みやま市が筑後南支部の範囲ですが近隣の久留米市や熊本県荒尾市からお越しいただき嬉しく思いました。次回もまたお目にかかれそうです、多くの皆さまのご参加をお待ちしております。



どの支部会にも参加できますので、同窓会事務局にお尋ね下さい

『少年たちの戦争』をめぐる

座談会

徳永 徹 名誉院長

BUDOU

2016年11月15日(火)、長崎支部総会が開催された当日、国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館で開催されている徳永徹名誉院長の著書「少年たちの戦争」の企画展に関連して、「座談会」が行われました。

徳永先生ご本人の進行のもと、被爆体験をされた方、被爆者の語り部「永遠(とわ)の会」、地元の大学生、理事長はじめ福岡女学院関係者等70名近い方々の参加がありました。

祈念館の智多館長によれば、このような座談会にこれ程多くの方々が参加されることは、開館以来、初めてのことです。地元の新聞社も3社が取材に来ており、マスコミの関心の高さも伺えました。

徳永先生のお話や、被爆された方々の貴重な体験談を聴くことができ、改めて戦争の悲惨さや原爆の恐ろしさを感じました。実際に被爆者の生の声を聴いて衝撃しました。そして、今現在生きている私たちに何ができるのかを考えさせられました。

また体験者は年々少なくなっていくという現実があります。「永遠(とわ)の会」の方々から、「体験のない我々がどう伝えていけばいいのか」との嘆きの声がありました。徳永先生は「戦争の悲惨さを忘れられていくが、それでも希望をもって語り継いでほしい。」とおっしゃいました。



座談会の後は、館内に展示されている、著者『少年たちの戦争』の基となった徳永先生の資料などを見学しました。



曲がりくねった一本道 — 戦後70年を生きて



戦後70年を迎えた日本、その激動と激変の時代を生きた一人の基礎医学徒がいた。

徳永徹(のちに国立感染症研究所所長、福岡女学院名誉院長)である。

長崎での小学校時代、親友二人と交わした手紙や日記をもとに、戦時下の少年たちの姿をありのままに記した前作「少年たちの戦争」の続編。戦後を記憶する人が減り、次第に風化してゆく「戦後七十年」の時代史を、自らの実体験を通して書き残すことで、それが一つの「時代証言」になることを願って書かれた一冊。長崎の原爆体験から福島原発事故まで — 戦後七十年、その時々において自分なりの選択をし、力の限り泳いだ曲がりくねった人生を、八十九歳となった今、振り返る。

購読ご希望の方は本部広報・校友課、同窓会事務局にてお求めになれます。
書店販売価格 1728円(税込) 特価 1500円(税込)です。

初
開催

Open Campus

「短期大学卒・大学卒業生の集い」
8月5日(土)

この夏に開催される福岡女学院大学オープンキャンパス時に学院に遊びにいらしゃいませんか?

当日は同窓生間の親睦はもとより懐かしい先生方とのよきひと時をお過ごしいただけるよう、準備を進めて参ります。是非、この機会にお出かけください。

今後、情報は同窓会総会の他イベント等やホームページにてお知らせしていく予定ですが、お申込みや詳しい内容につきましては同窓会事務局にお尋ねください。

※ 同窓生のよき繋がりが、豊かな実を結びますように!! ※

お問い合わせ / 福岡女学院同窓会事務局 TEL・FAX 092-575-2479

源氏物語を楽しむ
伝統雅楽を楽しむ

日時 2017年2月22日(水)
11:00~12:30 【開場】10:30
会場 福岡女学院大学 125周年記念館1階
講演 福岡女学院 生涯学習センター長
福岡女学院大学・大学院 教授、文学博士
東 茂美
演奏 日本雅楽保存会所属 浄土宗福岡雅楽会
鎮西楽所
定員 100名 全席自由
※定員になり次第受付を終了いたします。

お問い合わせ 福岡女学院大学 生涯学習センター / 日佐キャンパス校
TEL 092-575-2993 / FAX 092-575-6480

学年同窓会報告

福岡女学院 S32年高卒

紫陽花会

時間 2016年(H28) 10月1日(土)
11:30~15:30

場所 ホテルモントレ ラ・スール福岡



これから毎年同窓会を開催することになりました。
あちこちでの開催となりますが、
福岡は2年越しに開きます!!

S52年短卒
ナザレ寮同窓会
2016.11.26(土)



教養講座 グレープ・ガーデン

報 告

第21回

「嵯峨野の若女将に学ぶ 和食の魅力とマナーについて」

日時 2016年2月12日(金)

講師 料亭 嵯峨野 若女将 藤井 春奈子さん(S54年高卒)

第1部は天神サテライトで日本の節句「ひな祭り」について、日本古来から続く年中行事の大切さや和食にかかわる、お箸や器の使い方の正しいマナーを学びました。

第2部数寄屋造りを基調とした料亭「嵯峨野」に場所を移し、実際にミニ会席料理をいただきながら第1部で教えていただいた、お箸や器の使い方を実際に使いながら美味しいお食事をいただきました。

とても有意義な時間を過ごすことができました。



第22回

「同窓会100年史 栗山先生によるこぼれ話」 ～未知なる挑戦～

日時 2016年10月8日(土)

講師 100年史編集委員長 栗山 昌子さん (S30年高卒)
前同窓会会長

今まで手つかずであった同窓会のあゆみをたどり、1年半の歳月をかけ「同窓会100年史」を作成しました。

編集委員長の栗山さんはスライドを使いながら、100年史を作ったきっかけやイラスト、写真、インタビューなど同窓生の皆さんに喜んで読んでいただけるように創意工夫をされたとおっしゃっていました。当日は、たくさんの方々に足を運んでいただき盛況のもとに終わりました。



第23回 次回の予告

「古布に魅せられて」

講師 藤崎 節子さん(S32年高卒)

国登録有形文化財である旧家に伝わる古布を再生し、それを活かした作品を作り続けてこれ2006年に家庭画報大賞、2016年に家庭画報大賞・審査員特別賞を受賞なさった藤崎節子さん。

その、一針一針に込められた思いや、素晴らしい作品誕生までのエピソードなどお聞かせいただきます。

日時 2017年3月18日(土)

会場 福岡女学院天神サテライト

講演 13:30～ ティーパーティー 14:30～

【お菓子代 500円】

TEL 092-715-2718



受賞作品:紅花爛漫

申込み 福岡女学院同窓会事務局 TEL.(092)575-2479 (月～金 10:00～12:00、13:00～16:00)

熊本地震募金 について

時報「Mission」113号でお知らせいたしましたが、熊本地震により被災された学生、同窓生、関係者の支援のために、学院と共に募金を行っております。同窓会総会、各支部総会で募金箱にお寄せ下さった方、お振込みくださった方に心より感謝申し上げます。

2016.11.28現在 669,948円

どうぞ、引き続きご協力をお願いいたします。

振り込み先

郵便振替
福岡 01700-1-93350(青い払込票)
福岡女学院同窓会
通信欄に、「熊本地震募金」、住所、電話番号、氏名、卒業時の姓をご記入ください。

● 現金の場合は、同窓会事務局までお持ちください。

音楽科卒業生会

水上 史子 さん (S60年音卒)

音楽科卒業生会は2016年に卒業された51回生を含め、約1200名の卒業生を輩出しています。この度、卒業生会は同窓会組織内の「部会」として同窓会本部役員会にて承認して頂きました。これからも同窓会、学院との関係を深めていきたいと思っています。年2回(春・秋)の学年代表委員会を行い、活発な意見交換が出来ました。年1回(春)の卒業生通信発行も続いています。昨年7/3(日)ホテル日航福岡・鴻臚にて第19回総会・懇親会を開催しました。来賓として伊藤和子同窓会会長、徳永徹名誉院長、緒方由子先生、鈴木重弘音楽科主任、ゲストに坂梨喬弁護士をお迎えし、終始和やかで温かい雰囲気となりました。毎年開催して参りました卒業生演奏会、昨年は残念ながら開催出来ませんでしたが、今年は皆様にいらして頂けるかと、8/5(土)午後公演をあいれふにて予定しています。

音楽科卒業生会はこれからも同窓会部会として学院、音楽科の発展を応援していきたいと思っています。



女学院卒業生の皆さま

初めまして。バンドネオンと聞いてアルゼンチンタンゴで使われている楽器とすぐお分りになられる方がいらっしゃるかもしれません。私は本当に嬉しいです。何故なら、日本では、まだまだ「バンドネオン＝楽器」という図が成り立っていないからです。ただし、長年のタンゴファンが沢山いらっしゃるのもまた事実です。

私は、高校受験時にたまたまつけたテレビでこの楽器をみて、「これだー」とビビッときて、そこからそのテレビに出ていた人にコンタクトをとって東京上京と同時にこの楽器に触れることとなりました。得体の知らない楽器をやみくもに練習するのは、本当に大変なことでしたし変な癖がつきそれが抜けるのもまた大変でした。本気でやめたこともあります。だけれども、人が私を救ってくれださり、お客様がまた聴きたいと応援してくれる環境が、今もこう



川波 幸恵さん (H10年音卒)

して笑顔で演奏活動できている一番の理由です。

私は、2015年アメリカで行われた第1回チェ・バンドネオン世界コンクール(Stowe Tango Music Festival)で優勝してきました。審査員は、アルゼンチンからきたタンゴ界の巨匠たち。2016年も参加してきましたのですが、今後はますます世界的にみて素晴らしいものになっていく会だなど感じました。音楽家にとって何が一番上手くなる方法か、それは上手い人の隣で演奏することです。そんな喜びが感じられる機会はそうそうありません。アルゼンチンに行ったらからといってマエストロの隣で弾けるなんてことはないので。

ある楽器を生き返らせたいです。また演奏家を招いてタンゴの真髄に直接ふれられる時間を作りたいと思っています。巨匠は、80歳を超えています。生き字引を失う前に早く現実にしていきたいです。演奏して思うんです。私の好きなタンゴは、こんなもんじゃなく、もっと面白く美しい音楽なんだからって。そのためにも私も含めタンゴ演奏家が発展していき、この音楽の魅力を日本の皆様と共感できたらと。一つのぶどうの木でつながっている先輩後輩方々とタンゴの魅力が分かち合える日が来るのを楽しみにしております。



インドネシアからApa kabar?!

ごきげんいかが?
竹下 綾香 さん (H28年大卒)

こんにちは。私は今、インドネシアの高校で日本語パートナーズとして活動しています。日本語パートナーズとは、国際交流基金が2014年より開始したプログラムです。ASEAN諸国の中等教育学校に現地日本語教師のアシスタントとして派遣されます。近年ASEAN諸国では日本語学習者が急増しています。特にインドネシアは高校生の日本語学習者数が世界で最も多い国です。その反面、先生の数と経験の不足が課題となっています。

私は一生懸命日本語を学ぶ子どもたちに日本語や日本文化をより身近に感じてもらい、日本のファンをもっと増やしたいと考えインドネシアへ渡りました。

授業では、主に日本語の発音モデルや生徒の会話のチェックを行っています。また、浴衣や折り紙などの日本文化体験を行うこともあります。生徒たちはとても明るく興味津々に私の話を聞いてくれます。毎日「あやか先生、おはようございます」と日本語で挨拶してくれ、それだ

けで、私がここに居る意味があるのだと感ずることが出来ます。

インドネシアに来て早くも2ヶ月が経ちました。初めは日本とは全く異なる文化に戸惑いました。しかし現在は想定不可能な毎日が逆に楽しく、すっかりこの国にハマっています。また、人と人との距離が近く、みんなが助け合って生きていることを身をもって感じます。私が困っている時、道を渡る時でさえも、誰かが声をかけて助けてくれます。

帰国後は、私が日本国内の在留外国人に寄り添い、サポートしていきたいです。インドネシアの助け合いの精神を忘れずに!



現地新聞にて紹介されました!



看護大学 献堂式

「看護大学2号館献堂式」

によせて

看護大学は今春開学10周年を迎えるまでに成長してまいりました。すでに500名を超える卒業生たちが医療・福祉の現場で活躍しています。ひとえに、同窓会の皆様の励ましに支えられてのことと心より感謝申し上げます。いま日本の社会構造や医療を取り巻く環境は大きく変化しています。看護職に求められる能力も年々高くなり、教育においても、豊かな人格形成と共に、いかなる状況に対しても最善の看護を提供できる実践の基盤となる能力を備えた看護職者の育成が強く求められています。これらの社会の要請に応えるために、福岡女学院看護大学では他の九州地区看護系大学に先駆けて、看護シミュレーションセンターの設置に着手し、8月末に無事完成となり、9月13日に献堂式を行いました。式には、古賀市や東医療センターの関係者、設計・施行関係者、本学関係者ら100名近くの方々の出席がありました。片野光男学長により、新棟が、2号館と命名されたこと、2、3階に設置された看護シミュレーションセンターの愛称「AI Sim」の紹介がありました。AIには、①キリスト教の「愛」、②出会の「会い」、③学び合



の「合い」がこめられており、SimはSimulation Centerを意味します。引き続き、十時忠秀理事長より、設計/施工担当の銭高組様への感謝状が贈呈されました。式後、施設見学を行いました。ICU(集中治療室)やトイレ付き4床室、分娩室、一般家庭の居室など、臨場感あふれる看護実践の場の再現には賞賛の声が上がり、「U」を駆使したシミュレーター(模擬人形)を操作しての看護演習には、これからの教育への期待が大きく寄せられました。

(学長特命補佐...前田三枝子)



写真 左から・脇本さん、安心院さん、高柳さん、築地さん

2016年10月19日 大学内カフェテリアにて福岡女学院を卒業され、現在、学院で職員として勤務されている同窓生の方々にお集まりいただき、座談会を開催しました。

お忙しい中お集まりいただいた方々は

高柳 千恵子 さん (S59年高卒/S61年短卒) —— 本部 人事課
 築地 麻子 さん (H8年短卒/H10年大卒) —— 本部 人事課
 安心院 恵子 さん (H15年大卒) —— 大学 入試広報課
 脇本 咲也香 さん (H22年高卒) —— 大学 教務課

Q. 女学院での忘れられない思い出
 はありますか？

脇本
 中1から高3まで、ずっとバレ部だったので、青春といえ
 ば女学院で過ごしたバレ部で
 す。忘れられない思い出としては、高1の
 時、京都の修学旅行で訪れた国立博物館
 で、美術の瓦田先生が「これは国宝
 だー！」と生徒にアピールしていたら、館
 内の係の方に注意されたことが、私の中
 で印象が深かったです。

安心院
 私は大学4年間部活もして
 なかったので授業を受けて家に
 帰る生活でした。
 高校時代「大学はクラスがないので、自
 分のことは自分でしっかりできるような
 になりなさい」と指導を受けてきましたが、
 入学してみると、20人くらいのクラスがあ
 り、アドバイザーの先生がおられることに
 驚いたことを覚えています。私のアドバ
 イザーは辻先生で、クラスメイトと農作業を
 したり、休日には先生が動物園に連れて
 いくってくださったりして、クラスの親睦を
 図ってくださいました。大学祭ではクラス
 で育てたさつま芋を売ったりして、楽しい
 思い出が作れました。

高柳
 私は短大で、部活動はマン
 ドリン・ギタークラブでした。当時
 は部活動が盛んで、マン
 ドリン・ギタークラブは2学年で40人くらい
 の大きなクラブでした。
 毎年冬にももちパレスで定期演奏会があ
 り、4月に入部した新入生を2年生が一
 ら指導して、演奏会のために、夜遅くまで
 練習をしていました。その時にクラブの同期や
 先輩方との絆が強くなったと思います。

2年生の時、コンサートミストレスを仰せ
 つかりコーチ、部員との連携により定期演
 奏会は成功裏に終わり、充実した部活動生
 活を送ることができました。その中で学生
 課の職員の方々にお世話になり色々と助け
 ていただいたことが記憶に残っています。
 社会人になってもマンダリン・ギターク
 ラブの絆は強く、同期で声を掛け合って年
 に1回程度集まっています。

築地
 私は大学の宗教部に所属し
 ていました。私は大学からでし
 たが、女学院高出身の方もい
 て、皆さん活発で、フレンドリーだったので
 気が合いました。
 まだ将来が決まっていなかった不安定な時
 期だったからこそ、腹を割って色々な話し
 ができました。セミナーで八木山研修寮に
 行ってみんなで食事をしたりお風呂に
 入ったりしたことも良い思い出です。

Q. 在学中と就職してからでは女学
 院の見方はどの様になりましたか？

脇本
 生徒の時は自分のことだけ
 を考えればよかったのですが、
 就職してからは学生さんのこ
 とを一番に考えるようになりました。今ま
 では、卒業生として先生に会いに来たり、
 後輩にバレエを教えたり、それも楽しか
 ったのですが、職員になってからは、女学院
 を守る、卒業生の方々がいつでも帰って来
 れるようにと考えるようになりました。

安心院
 学院には、毎年、創立記念日
 をはじめた皆さんの卒業生の
 方が訪ねていらっしゃいます。女
 学院での思い出が素晴らしいからこそ

脇本さん



「戻ってきたい！」と思われてると思いま
 す。だからこそ、在学生にも今しか出来な
 い経験をしてほしいです。大学には、学生
 から「これがしたい！」などの要望があれ
 ば、サポートできる様々な体制がありま
 す。クラブ、ゼミなどを利用して女学院で
 過ごした皆さんの思い出を作ってほしい
 です。そのパイ役になれたらいいと思っ
 ています。

高柳
 私は在学中は自分自身が若
 かったので、自分中心の見方し
 かできていなかったと思います
 が、職員になってからは、生徒一人ひと
 りを女学院が守ってくれていると感じるよ
 うになりました。なぜそのようなことを思
 うか考えてみたのですがそれは先生、職員
 が皆さん温かい気持ちで生徒に接してい
 らっしゃるからだと思っています。

築地
 職員になってからは学生をみ
 ると「かわいいなあ」と思いま
 す。それは幼稚園生でも、中高
 生、大学生でもです。この子たちが将来何
 かあった時にたくましく生きていける何
 かを伝えられたらいいなと思っています。そ

安心院 さん



協本 卒業生がいつまでも戻って来れる場所を守っていくことが努めだと思っています。私の母も姉も卒業生です。姉は幼稚園、中高校とすべて女学院です。ですから女学院に感謝しています。みんなずっと愛される学校であって欲しいと思います。それを支えていけるように自分自身頑張りたいと思います。

これは自分が女学院の卒業生なので思いはひとしおです。
福岡女学院は、学生生活だけではなく、その後の人生で辛いことがあった時に「女学院で勉強できてよかった。」という何かを与えてくれる場所だと思います。
ただの勉強だけではないところが女学院の強味だと思います。職員として時には「そんなことしていいの？」と厳しく叱ることもあります。それは学生を応援したいと思ってること、それは職員になったからだと思っています。

— Q. 今後女学院をどのような学校にしていきたいですか？

安心院

卒業 式に徳永徹先生が「いつてらっしゃい。」と送り出してくださったので、卒業生の方が戻って来れる場所を守り、時代を越えて愛される学校であることが大切だと思っています。

「戻ってきたい」と思うには、キャンパスライフの満足度が高くなければならないと思うので、職員として学生一人ひとりを大切にしたいと思っています。

高柳

つながりを大切にしていきたい学校にしていきたいと思っています。私は以前、天神サテライトの市民講座を担当していました。天神サテライトでは、色々な講座を開講していました。「初めて女学院を知りました」という受講生の方、「卒業後日佐には行ってないがここにきました」という卒業生の方など、そこでコミュニティが生まれたり、様々な方が行き交う場所だったので、人とのつながりを強く感じていました。

ある時、卒業生の方から講座を開きたいという相談がありました。その講座は今まで開いたことがないものだったので、どうしようかと思案しましたが、サテライトには同窓生の活躍の場を提供するという使命もありましたので、お受けすることにしました。広報活動も頑張り、結果的に受講者も集まり講座を開講することができました。後日、その卒業生の方から、サテライトの講座をきっかけにいくつか仕事が決まりました。卒

高柳 さん



業後に女学院からこんなしてもらえてとても嬉しかったというお礼のメールをいただきました。一つ一つは小さいことですが、女学院が発信してそれが広がって人と人とのつながりが出来ているのだなと思いました。これからも、つながりは大切にしていききたいと思っています。

築地

女学院が社会に認められるように勉強も、スポーツも頑張りたいし、精一杯やるべき事をやったと思える学校生活を送れる場所を提供していきたいです。外部の方から見ても「この人、女学院の方で、素敵な人だよ。」と九州の最先端のところで言ってもらえる女性を輩出できる学校にしていきたいと思っています。

— Q. 学内で気に入りの場所はどこですか？

協本

中高の体育館。ずっとバレー部だったのでお気に入りというかそこがすべてという感じです。授業が終わってから夕方まで、土日でもずっと体育館にいたので。顧問の山田先生の声とか体育館の匂いとかやはり懐かしいです。

安心院

キャンパスの中にいて四季を感じられることです。春は桜、夏は蝉の声、秋は落ち葉、冬はクリスマスツリー、緑が多いキャンパスは心穏やかに過ごせます。

高柳

毎日ぐっっている正門から見る女学院です。朝は鳥のさえずりが聞こえ、秋はキンモクセイの香りがふわーっとして、正門をくぐるとパノラマのようにひろがっている女学院の景色が好きです。昔はロータリーのツツジが綺麗でしたよね。今はなくなっちゃって少し残念です。

築地

池周りも好きですが、食堂から幼稚園に続いている並木が好きです。その並木を歩くと異次元にきたみたいだし木々の匂いがして、とても落ち着きます。

築地 さん



今回、幅広い年代の卒業生の方々に、貴重なお話を聞かせていただき、福岡女学院を思う熱い気持ちが伝わってきたと同時に、私自身、在学当時を思い浮かべ懐かしさで一杯になりました。

改めて学院の伝統を引き継ぎ、そして人の繋がり（くぶどうの木）を大切にしていきたいと思いました。ご協力いただきました皆様に心よりお礼申し上げます。

2016年のバザー

学院や同窓会のイベントの際
ミッショングッズの販売やバザーを行っています。

- 2016.03.01 高校卒業50年記念祝会
- 2016.03.27 マタイ受難曲コンサート(アクロス福岡)
- 2016.05.17 同窓会総会(西鉄ソラリアホテル)
- 2016.05.18 創立記念日・同窓会ホームカミングデー
- 2016.09.10 中高「女学院祭」
- 2016.10.22 大学「葡萄祭」
- 2016.11.05 看護大学「Nursing Festa」
- 2016.10~11 各支部総会
- 2016.12.22 メサイアコンサート(アクロス福岡)

※利益の一部はバザーの当該部署の支援金とします。
その他は、同窓会運営会計の寄付金の収入とし、使途については役員会で討議いたします。

出店者募集!

今年も創立記念日(2017.5.13
(土))に同窓生による出店(出品
者本人の手作り品に限る)を募集
いたします。

ご出店品の一部に女学院限定販
売を感じさせる物、例えばぶどう
や錨、中高制服の色(夏服をイ
メージするブルーと白、冬服をイ
メージする紺とエンジ)を使用した物などお願いします。
出店のご希望や詳しい内容のお問い合わせは同窓会事務
局(Tel/Fax 092-575-2479)までお申込み下さい。
但し、出店料が必要です。(参考価格2016年3,000円)
応募が多数の場合は役員会にて検討させていただきます。



応募締切 2017年2月末日

ミッショングッズの
お知らせ

FUKUOKA JO GAKUIN ALUMNAE ASSOCIATION

MISSION GOODS

同窓生デザインによるグッズも 揃えております。

現在販売しているミッショングッズの中には、きり絵ハガキや
マスキングテープ(ぶどう)、一筆箋、封筒、ランチョンマット、
ミッションシール等、同窓生の方のデザインが施された女学
院をイメージさせるグッズも多数!日常使いや、お友達へのプ
レゼントにいかがですか?

同窓会では、総会、創立記念日等学院のイベント、
各支部総会にてミッショングッズを販売しております。
グッズについての詳細は同窓会ホームページをご覧ください。
また、同窓会事務局でもお買い求めいただけます。



同窓会サポーター募集!

同窓会の活動のお手伝いをしてくださる「サポーター」を募集しています。
女学校、中高、短大、大学、大学院、看護大すべてのグレード卒業の方が
対象です。

1日だけでも、遠方の方でもOKです。バザーやホームカミングの際には
「サポーター」の方々にご協力いただいています。ご自分に合った同窓会
や学院へのサポートの方法があると思いますので、まずはご登録をお願
いします。サポーターとしてご登録いただける方は、同窓会事務局
(TEL&FAX:092-575-2479)までご登録ください。
ご協力をよろしくお願いいたします。



中高「女学院祭」にて

お仕事会 報告



本年度も盛会のうちにバザーを終了でき、同窓生・学院関係の皆様にご心からお礼申し上げます。

お仕事会は発足して今年で25周年を迎えます。仲間たちも高齢になってしま

したが、これからもお仕事をしながら歳を重ねていきたいと思ひます。

今後とも、どうぞよろしくお願い致します。

バザー収益金の寄付先

- ・卒業生合唱団「葡萄」..... 2万円
- ・中高生徒会..... 3万円
- ・中高YWCA..... 3万円
- ・SOS子どもの村JAPAN..... 3万円
- ・子供の村福岡を設立する会..... 3万円
- ・国境なき医師団..... 2万円
- ・NPO法人ロシナンテス..... 2万円
- ・福岡女学院教会クリスマス献金.. 1万円
- ・熊本地震募集募金..... 30万円

同窓会本部

会 長 伊藤 和子 (S46年高卒)

副会長 高田 典子 (S53年高卒)
須藤 敬子 (S55年高卒・S57年短卒)

書 記 角 静香 (S46年高卒)
山田 恵美 (S57年高卒)

総 務 水田 美絵 (S54年高卒)
高木 文 (S52年短卒)
稲原しのぶ (S54年高卒)

会 員 中野真理子 (S45年短卒)
月野木直子 (S60年音卒)
高田千寿子 (H1年高卒)

広 報 末吉 恵子 (S60年音卒)
岩瀬 由美 (S56年高卒)



会長・副会長



書記



総務部



会員部



広報部

財 務 藤 良香 (S53年高卒)
日下部千春 (S59年高卒)



財務部

活動推進 藤原 京子 (S43年音卒)
小串 洋子 (S42年高卒)
弥永美保子 (S55年高卒)
高尾 直美 (S57年高卒)



活動推進部

監 査 森 奈都美 (S58年高卒・S60年短卒)
赤間 有美 (H2年高卒・H4短卒)



監査

事務局 白木美恵子 (S56年高卒・S58年短卒)
時政 洋子 (S54年高卒)
藤井 美穂 (S58年音卒)



事務局

● 同窓会役員募集のお知らせ ●

同窓会活動に参加していただける役員を募集しております。一緒に活動して下さる方は、是非ご連絡ください。自薦他薦は問いません。選考委員会による選考があります。お問い合わせは同窓会事務局まで。

活動報告

- ① 同窓会総会
- ② 支部長会
- ③ 支部総会
- ④ 創立記念日のホームカミング
- ⑤ 卒後50年の同窓生の卒業式招待
- ⑥ 卒後25年同窓会開催への支援
- ⑦ 文化祭、講演会、学院行事への協力
- ⑧ 会報「ぶどう」発行
- ⑨ 85歳以上の会員へのクリスマスカード発送
- ⑩ 教養講座「グレープ・ガーデン」開催
- ⑪ 会計処理(予算、決算、監査)
- ⑫ オリジナルグッズの企画、バザー開催
- ⑬ 役員会
- ⑭ 同窓会開催への支援
- ⑮ ホームページ管理
- ⑯ 会員情報データ管理



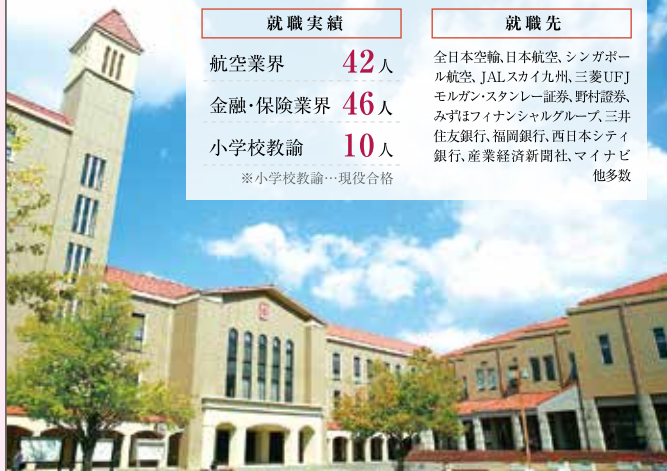
学院 INFORMATION



福岡女学院大学・福岡女学院大学短期大学部

就職状況（2015年度卒業生）

就職実績	就職先
航空業界 42人	全日本空輸、日本航空、シンガポール航空、JALスカイ九州、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、野村証券、みずほフィナンシャルグループ、三井住友銀行、福岡銀行、西日本シティ銀行、産業経済新聞社、マイナビ 他多数
金融・保険業界 46人	
小学校教諭 10人	
※小学校教諭…現役合格	



- 人文学部 / 現代文化学科 / 言語芸術学科 / メディア・コミュニケーション学科
- 人間関係学部 / 心理学科 / 子ども発達学科
- 国際キャリア学部 / 国際英語学科 / 国際キャリア学科
- 短期大学部 / 英語科 **NEWS** 2016年度「イングリッシュイマージョンコース」新設

お問い合わせ TEL: 092-575-2970 (入試広報課)

福岡女学院看護大学

2016年9月 看護シミュレーションセンター完成!



2017年に創立10周年を迎える看護大学に、九州地区で附属病院を持たない大学単独では初めての、看護シミュレーションセンターが完成しました。高性能な機器がそろった、より現場に近い環境で、シミュレーションと振り返りを繰り返し行うことで、実践力を培います。

〒811-3113 福岡県古賀市千鳥1-1-7 tel.092(943)4174

福岡女学院中学校・高等学校



「大切なひとり」のその先を実現する
福岡女学院の女子教育

2017年度入学生から実施 // 3つのイノベーション

- 1 普通科進学クラスに「看護・医療コース」新設
- 2 音楽科に「音楽大学コース」と「国立大学教育学部コース」新設
- 3 「福岡女学院高等学校出身者奨学金」新設
※本校から福岡女学院大学へ進学すると入学金を給付

詳しくはお問い合わせください。

お問い合わせ先 tel:092-575-2470

福岡女学院幼稚園

ミッションメイト 入会のおさそい



ミッションメイト会員の登録を受付ています。
お知り合いの方で福岡女学院幼稚園に興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、ご紹介ください。

会員の方へは園庭開放など、本園の子育て支援情報を掲載した「こそだての森」と「ミッションメイトだより」を毎月お送りします。

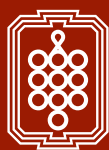
会期	入会日～就園前
対象	未就園児(0歳～4歳)とその保護者
会費	無料

ご希望の方は福岡女学院幼稚園までお電話ください
TEL.092-575-2472

学院資料室より

学院に関する過去の記録や資料(写真のみでも歓迎)を収集しております。
同窓生の皆さまで「福岡女学院」の貴重な資料をお持ちの方がいらっしゃいましたら、お知らせください。ご協力をお願いいたします。

資料展示室開室時間 / 月、火、木、金曜日の9時30分～16時30分 お問い合わせは総務課・資料展示室係まで(TEL 092-581-1492)



福岡女学院

今石悦子記念ピアノコンサート



このたび、同窓生の今石悦子様よりスタインウェイのピアノを学院に寄贈いただいたことを記念したピアノコンサートを開催いたします。

また、今回は皆さまからのご寄付など温かいご支援によりリニューアルするギール記念講堂のお披露目の機会でもあります。

演奏には福岡女学院中学校の卒業生で、現在はパリを拠点にヨーロッパで活躍中の山本亜希子氏をお迎えし、ご来場のみなさまには創立記念式典の日にあふさわしい、優雅で華やかな時間をお過ごしいただきたいと思っております。

2017年5月13日(土)

— 福岡女学院 創立記念式典の日 —

時 間 13:30開場 / 14:00開演

会 場 福岡女学院 ギール記念講堂
福岡市南区日佐3丁目42-1

演 奏 山本 亜希子(福岡女学院中学校卒業)

演奏曲目 バッハ : イタリア協奏曲BWV971
モーツァルト: ソナタ第12番 KV.332
ドビュッシー: 版画
シューマン : 謝肉祭「4つの音符による面白い情景」op.9
ラヴェル : ラ・ヴァルス

入 場 料 一般2,000円 学生1,000円

チケットぴあ Pコード:318-194 ローソンチケット Lコード:82250 福岡女学院

お問い合わせ: 学校法人 福岡女学院 広報・校友課
TEL. 092-575-2949 / E-mail gakuin-pr@fukujo.ac.jp

主催: 学校法人福岡女学院
共催: 福岡女学院同窓会、福岡女学院後援会



福岡県出身。4歳よりピアノをはじめる。
福岡女学院中学校、桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学、同大学研究科卒業、チャイコフスキー記念国立モスクワ音楽院研究科修了。
その後パリ国立地方音楽院(CRR)室内楽科、エコールノルマル音楽院でも研鑽を積む。
ピアノを長谷川美智子、井口京子、雨田のお子、練木繁夫、M.ヴォスクレンスキー、A.ケフレック各氏に、室内楽を原田幸一郎、毛利伯郎、久保陽子、S.デヴィッチ、P.サラフ、エリック・ル・サージュ各氏に師事。
NTTドコモ、明治安田生命クオリティオブライフ文化財団、ロームミュージックファンデーションより奨学金を授与される。
平成17年度文化庁芸術家在外研修員。
2002年、第57回ジュネーブ国際音楽コンクール第2位入賞。
2003年、第24回霧島国際音楽祭にて霧島国際音楽祭賞受賞。
2004年、第14回ロベルト・シューマン国際コンクール優勝。ゴールドメダル受賞。

現在フランス在住。これまでに日本国内始めヨーロッパ各地の音楽祭に招かれリサイタルを行うほか、ソリストとしてスイス・ロマン管弦楽団、ツヴィッカウ管弦楽団、ドネツク交響楽団、九州交響楽団、オーケストラAFIAなどと共演の他、シマノフスキー弦楽四重奏団、ミクロシュ・ペレーニ、樫本大進、加藤知子をはじめ、多数の著名演奏家とも共演。室内楽奏者としても絶大な信頼を置かれている。
2005年より度々共演を重ねているエベヌ弦楽四重奏団(Quatuor Ebène)と録音し、2009年にリリースされたブラームスピアノ五重奏曲のCDは「レコード芸術」準選盤に選ばれた他、世界各国で高い評価を受けている。

会計報告

■ 会費会計／収入の部

入会金	2,382,000 円
会費	20,314,000 円
合計	22,696,000 円

2015年度運営会計決算

■ 運営会計／収入の部

(単位：円)

	2015年度予算	2015年度決算	予算比	備考
会費会計より	21,211,009	21,211,009	0	
受取利息	0	4,353	-4,353	受取利息
雑収入	0	0	0	
寄付金	0	156,630	-156,630	寄付金
イベント収入	2,500,000	2,415,350	84,650	総会費、グッズ収入
収入合計	23,711,009	23,787,342	-76,333	
前期より繰越	3,493,702	3,493,702	0	
特別活動費繰越金	955,289	955,289	0	
合計	28,160,000	28,236,333	-76,333	

■ 運営会計／支出の部

(単位：円)

	2015年度予算	2015年度決算	予算比	備考
総務部費	2,550,000	2,058,987	491,013	総会費用
会員部費	1,150,000	868,677	281,323	ホームカミング、卒後50年招待費、入会記念品費他
活動推進部費	1,300,000	1,252,814	47,186	グッズ関連費、バザー開催費他
広報部費	3,850,000	3,546,382	303,618	会報「ぶどう」発行費、支部総会参加交通費、広告料他
活動費	270,000	191,791	78,209	グレイプガーデン開催費、社会保険労務士報酬他
支部関連費	1,930,000	1,751,744	178,256	支部支援金、支部長会費、支部総会参加費、交通費他
支援金(学院・会員)	1,110,000	727,165	382,835	各グレード・メサイア支援費他
会議費	100,000	77,937	22,063	コーヒー代他
給与費	3,750,000	4,151,727	-401,727	事務職員3名分(交通費・社会保険料含む)
コンピュータ関連費	1,680,000	1,089,207	590,793	機器リース料、メンテナンス料、コピー料、ホームページ関連費他
旅費・交通費	270,000	255,100	14,900	役員交通費他
通信費	360,000	291,456	68,544	電話・郵便代他
雑費	420,000	388,952	31,048	税理士報酬、役員保険料、書籍代他
消耗品費	220,000	151,133	68,867	事務・衛生用品代他
設備・営繕費	150,000	121,250	28,750	中庭ガーデニング費用他
慶弔費	50,000	21,600	28,400	花代
同窓会100年史費	3,000,000	2,965,804	34,196	100年史発行料他
学院支援積立金	3,000,000	3,000,000	0	天神サテライト支援金(200万円)、ミッ
学院130周年記念費	1,000,000	1,108,000	-108,000	ジョンパルハイアー支援金(200万円)
特別活動費	1,000,000	0	1,000,000	
予備費	1,000,000	0	1,000,000	
合計	28,160,000	24,019,726	4,140,274	
次期繰越	0	3,261,318	3,261,318	
次期特別活動費繰越金	0	955,289	955,289	
合計	28,160,000	28,236,333	-76,333	

2016年4月16日監査の結果、相違のないことを認めます。(監査)

■ 会費会計／支出の部

運営会計へ 21,211,009 円

2016年度運営会計予算

■ 運営会計／収入の部

(単位：円)

科目	2016年度予算	備考
会費会計より	16,558,682	
受取利息	0	
雑収入	100,000	
イベント収入	2,300,000	
前期より繰越	3,261,318	
合計	22,220,000	

■ 運営会計／支出の部

(単位：円)

	2016年度予算	備考
総務部費	2,200,000	総会費
会員部費	1,120,000	ホームカミング、卒後50年招待費、入会記念品費他
活動推進部費	1,200,000	グッズ、バザー開催費他
広報部費	3,760,000	会報「ぶどう」発行費他
活動費	220,000	グレイプガーデン開催費、会長・副会長活動費他
支部関連費	1,895,000	支部支援金、支部総会費他
支援金(学院・会員)	925,000	各グレード・メサイア支援費他
会議費	100,000	会議費
給与費	4,150,000	事務職員3名分(交通費・社会保険料含む)
コンピュータ関連費	960,000	機器リース料、コピー料、ホームページ関連費他
旅費・交通費	280,000	役員交通費、その他交通費他
通信費	320,000	電話、郵便代他
雑費	450,000	税理士報酬、保険料他
消耗品費	210,000	事務用品代、衛生用品代他
設備・営繕費	380,000	ガーデン関連費、ピアノ調律代他
慶弔費	50,000	
学院支援積立金	3,000,000	
予備費	1,000,000	
合計	22,220,000	

財務部より

同窓会会員の皆様からの貴重な会費を同窓会活動の運営と学院の発展のために、大切にに使わせていただいております。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

同窓会へのご寄付ありがとうございました。(五十音順)

S52年短卒カナン寮同窓生様、楠川恵美子様、栗山昌子様、田沼美紀子様、長岡陽子様、花田規子様、土生公子様ご遺族様、正田雅子様、真壁喜實子様、他匿名希望の方3名

同窓会の財政基盤である会費収入が、ここ数年、毎年減少してきています。 未納の方は会費納入のご協力をお願いいたします。

[同窓会会費納入にご協力を!!]

会費の振込は次ページの振込用紙をご利用ください。この振込用紙は同窓会会費専用の振込用紙ですので、他のお支払いにはくれぐれも利用されないようお願いいたします。同窓会会費は1口1,000円ですが、1,000円から何口分でもお支払いいただけます。満期は50口です。会報「ぶどう」の送付の際の宛名ラベルシールの左下に数字が記載されている場合は、会費の満期までの口数となります。何も記載されていない場合は完納されている方です。

郵便振込口座番号 01790-4-19034 福岡女学院同窓会

■ 満期までの口数(残)

2016年11月末現在

完納された方にはこの数字が入っていません。

(例) この場合は満期(額)に対して21口分(21,000円)残っています。
※1,000円から何口分でもお支払いいただけます。

ご不明な点は同窓会事務局までお尋ねください。
(TEL&FAX 092-575-2479)

宛名ラベルシール

〒811-1313
福岡県福岡市南区日佐3-42-1

福岡 花子 様

21

29990013

■ 会員No.

氏名の漢字表記について

氏名の表記でシステムの都合上、旧字体など表示できない場合がございます。その場合は代替文字で表記させていただきます。ご了承ください。

例: 吉 ➡ 吉 辻 ➡ 辻

ご住所のお届けについて

卒業後の住所のデータ管理は同窓会事務局にて行っております。同窓会へのお届けの住所、氏名等に変更がある場合には必ずご連絡ください。住所変更はホームページからでもできます。

同窓会事務局 TEL&FAX 092-575-2479

ホームページ <http://www.fukujo.ac.jp/alumnae/> E-mail alumnae@fukujo.ac.jp

ガリラヤ湖のほとり

福岡女学院看護大学 副学長 齋藤 武

マタイによる福音書 18:3-4

「心を入れ替えて子供のようにならないければ、決して天の国に入ることはいできない。自分を低くして、この子供のようになる人が、天の国でいちばん偉いのだ。」



チャブレンとしての長い年月の間には時には病室での結婚式などもありましたが、夜となく昼となくほとんどの時を死を意識して生きる患者さんの苦悩やそのご家族の悲嘆、糖尿病をかかえて、年365日1日の休みもなく自分の生活を律して生活しなければならぬ厳しさを空しく、また臓器移植を待つ患者さんの重い魂の聲に触れ、神の許しばかりを乞う日々を過ごしてききましたが、ある時期幼稚園の園長という未知の任をまかされたことがありました。新米の園長として、園バスに乗って子どもたちの送迎をしていたある日、帰宅する子どもたちとバスを待ちながら一緒に花壇の花を見ていました。「きれいだねえ」って話しかけたら、子どもたちは「キヤー」と叫んで花から離れ、僕の足や手に「斉にしがみついてきたのです。」「どうしたの?」「てたずねると、「大きなクモがいる!」と恐る恐る花をのぞき見るのです。僕は上から花を見ていたので、花の裏側は見えませんが、子どもたちから花の高さからは花の裏側がよく見えるのです。同じ花を見ていても、人それぞれに見る場所や見えるところによって、感じることも、理解することが異なるのだですね。自分の見方や理解だけが「正しい」のではない、そんなあたり前のことをあらためて子どもたちから肝に浸み入るほどに教わった日でした。

看護という医療の現場に於いても、同じ「病氣」の話をしているても医療者の方と患者さんで異なった「病氣」の話をしていることがあるように思います。たとえば石川啄木がそんな時の思いを次のような句に残しています。

そんならば生命が欲しくないのかと
医者に言はれて、
だまりし心！

「病氣」をかかえて生きる人生の苦しみや悲しみは理解してもらえなかつた悔しさかも知れません。

自分だけが「正しい」のではないことを肝に命じ、見方や感じ方が異なる人であつてもその人はその人の人生を考え選ぶ権利と自由を持つていたい人間として尊敬することができると謙遜で寛容な心を持った人間になりたいと願っています。他者と共に生き共に育てて下さる神の愛に溢れた看護を目と心で指し、「看護に先立つ愛」を看護大学の学生さんたちと語りあい共に学び歩んでゆきたいと願っています。

逝去

つつしんで哀悼の意を表し、
主による平安をお祈りいたします。

[illegible]

「福岡女学院同窓会100年史」が
発刊されました!!

130余年の伝統を守り発展してきた学院を、いつの時も見守り、支え、協力し続けてきた同窓生の姿を本誌で知ることが出来ます。
一人でも多くの方に、手にとり読んでいただきたいと願っております。

時折り、手元において
取り出して見たい1冊です

写真も多く、
どのページを開いても
工夫されていて
楽しく読める本です

墜落事故で、CAとして乗客を全員救った同窓生、エチオピアの女官として活躍した同窓生の話など、心を打たれました！

※寄せられた感想です。

1冊
1,360円(送料込み)

郵便振替
福岡 01700-1-93350(青い払込票)
福岡女学院同窓会
通信欄に、「同窓会100年史」、住所、電話番号、
氏名、卒業時の姓をご記入ください。

● 同窓会事務局でもお買い求めいただけます。

※訂正とお詫び※
(p150～151)「伝統を綴る新聞の見出し」におきまして掲載年月日やタイトルの記載の一部に誤りがございました。
ここに謹んでお詫び申し上げます。
この件に関し、ご理解をそて温かきご対応をくださいました西日本新聞社、関係者各位に深く感謝申し上げます。
[福岡女学院同窓会100年史]編集委員会一同

※（ ）旧姓です。 ※卒年順です。

卒後50年の同窓生の卒業式招待

卒後50年を記念して、母校の卒業式にお招きします。今年は**S41年高卒**の皆様方です。どうぞお楽しみに。当日は式後、同窓会センターにて軽食の準備をしております。

日時 **2017年3月1日 水**
10:00～

場所 **ギール記念講堂**



卒後25年同窓会のご案内

創立記念日に高校卒業後25年の同窓会開催を支援しています。

今年は**H4年高卒**の皆さまです。当日、お子様同伴も大歓迎です。お誘いあわせのうえ、ご来会ください。

日時 **2017年5月13日 土** *詳細につきましては、別途ご案内させていただきます。



福岡女学院 創立132周年

同窓会 ホームカミング&バザー

2017年5月13日 土 10:00～15:00

メイポールダンス終了後
同窓会センターにてお茶とお菓子をどうぞ

卒業生による手作り品バザー・ミッショングッズ等を販売致します。
懐かしい先生方やお友達と楽しいティータイムをお過ごしください。
どなたでもお越しいただけますのでお誘いあわせのうえ、
是非お越しください。



*Hallelujah! For the Lord God omnipotent reigneth.
The Kingdom of this world is become the Kingdom of our Lord,
and of His Christ! He shall reign for ever and ever.
King of Kings and Lord of Lords: Hallelujah!
[Revelation 19:6-8]*

The 35th
Georg Friedrich Händel
MESSIAH
FUKUOKA JO GAKUIN
SINCE 1885

「第34回メサイア」を無事盛会の内に終了できましたことを心より感謝申し上げます。
さて、今年も「第35回メサイア」を開催いたしますので、皆様お誘いあわせのうえご参加くださいますようご案内申し上げます。

第35回 メサイア
2017.12.15 (金) 会場 アクロス福岡 シンフォニーホール
開場/18:00 開演/18:30 指揮 未定

合唱団員募集
7月中、総務課で受け付けます。
はがき、電話、ファックスまたはEメールで申し込んでください。
申し込み方法: 名前、住所、電話、パート、卒業年度、メサイア経験有無をお知らせください。

申し込み先
〒811-1313
福岡市南区日佐3丁目42-1
福岡女学院 総務課宛
TEL: 092-581-1492 FAX: 092-575-2470
E-mail: messiah@fukujo.ac.jp

編集後記

ぶどうの
一粒

昨年の4月の熊本地震で被災された方々が、一日も早く通常の生活を送ることができるようお祈り申し上げます。
さて、会報「ぶどう」22号を皆様のもとへお届けいたします。
原稿や、お写真などをお寄せいただきました方々や、ご協力くださいました皆様に心より感謝いたします。
1年後の「ぶどう」23号の発行に向けて、これまで以上に親しんでいただけるよう、広報部一同努力して参りますので、皆様のご協力よろしくお願いいたします。(広報部: 末吉恵子・岩瀬由美)

皆さまの声をお聞かせください。ご意見、ご感想をお待ちしています。

福岡女学院同窓会会員数 **45,375名**

女学校卒	2,110名	短大卒	22,201名
専攻科1卒	716名	大学卒	8,985名
専攻科2卒	114名	大学院卒	86名
高校卒	14,218名	看護大卒	499名

※重複卒業あり 2016.12.1現在

●福岡女学院同窓会会報「ぶどう」第22号 2017 福岡女学院同窓会

〒811-1313 福岡県福岡市南区日佐 3-42-1
TEL・FAX (092) 575-2479
【URL】 <http://www.fukujo.ac.jp/alumnae/>
【E-mail】 alumnae@fukujo.ac.jp

福岡女学院 同窓会

検索

■個人情報取扱いについて

2005年4月より、個人情報保護法が制定されました。個人情報を取り扱う同窓会事務局としても、慎重に皆様の会員データを管理しております。懐かしいお友達へのご連絡など、事務局へ沢山のお問い合わせがございますが、必ずご本人様への確認をさせていただいた上でお答えしております。同窓会会員には同姓同名の方が多くいらっしゃいます。データ管理の間違いを防ぐために生年月日のご確認をさせていただきます。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

住所・氏名変更、同窓会会費その他お問い合わせ、ご連絡は同窓会事務局へ(受付時間: 月～金 午前10:00～12:00/午後13:00～16:00)